



地域資源としての「里帰り桜」を活かした
かわづくり・まちづくりの検討
～日米里帰り桜ルネッサンス～

2024年度（一財）水・地域イノベーション財団 成果発表会
研究・専門部門 2024年7月24日 NPO法人 あらかわ学会

CONTENTS

1. NPO法人あらかわ学会

2. 「里帰り桜」とは？

3. 研究内容

4. 研究成果

- ①報告書142 p
- ②リーフレット
- ③『荒川堤の桜』改訂版

5. 今後の課題と展開

地域資源としての「里帰り桜」を活かした
まちづくりの検討
—日米里帰り桜ルネッサンス—

研究報告書

①報告書142 p

特定非営利活動法人あらかわ学会

(編著：矢澤優理子（研究代表者）、鈴木誠（研究分担者）)

【目次】

1. 研究の背景と目的	1
(1) 研究の背景	1
(2) 研究の目的と社会的意義	1
2. 研究内容と研究方法、研究実施体制	2
(1) 現地調査	2
(2) 文献調査	4
(3) 聞き取り調査	4
(4) 地域の里帰り桜の認知度と愛着の把握	5
(5) 里帰り桜の継承手法の検討	6
(6) 里帰り桜の生育記録の作成と教育用リーフレットの作成、 書籍『荒川堤の桜』改訂・増刷	6
(7) 研究実施体制	7
3. 結果と考察	9
(1) 現地調査	9
(P10～113:足立区立小学校および中学校における里帰り桜調査台帳(学校別))	
(2) 文献調査	115
(3) 聞き取り調査	117
(4) 地域の里帰り桜の認知度と愛着の把握	121
(5) 里帰り桜の継承手法の検討	133
(6) 里帰り桜の生育記録の作成と教育用リーフレットの作成、 書籍『荒川堤の桜』改訂・増刷	134
4. 総合考察および今後の課題と研究の展開	138
(1) 総合考察	138
(2) 今後の課題と研究の展開	139
謝辞	142
巻末資料	
足立区立小学校および中学校における里帰り桜の現況調査結果一覧	
..... 巻末資料-1	
研究成果 ランドスケープ技術報告集 Vol.3(5-9,日本造園学会発行)掲載記事 「NPO 法人あらかわ学会による東京都足立区の「里帰り桜」に関する調査結果報 告」..... 巻末資料-20	
地域の「里帰り桜」の認知度と愛着の把握 WEB アンケート調査票	
..... 巻末資料-25	



図 3-6-3 作成した教育用リーフレット（表紙/裏表紙）

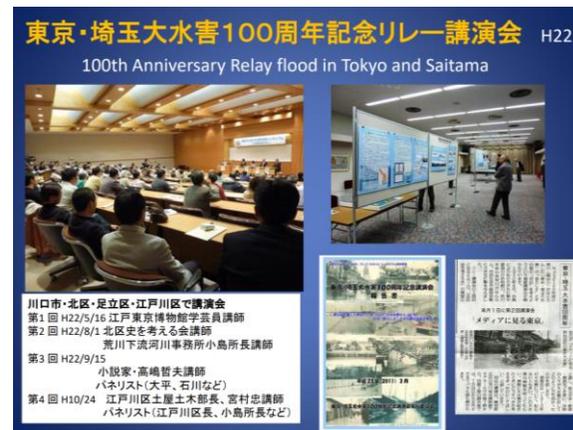
I. NPO法人 あらかわ学会

■ 団体概要

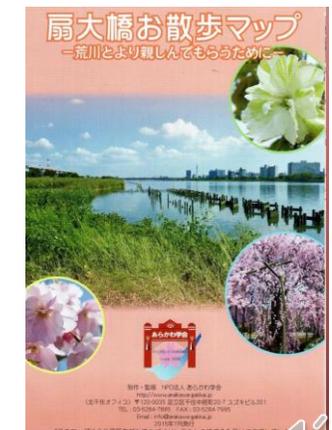
- ・荒川やその流域に関する歴史文化・自然・人々と荒川の関わりに関する調査・研究を行うNPO法人です。
- ・まちづくりや川づくりに関わる図書の発行や、講演会/勉強会/連携交流事業も開催しています。



伝統文化に関わるビデオ制作



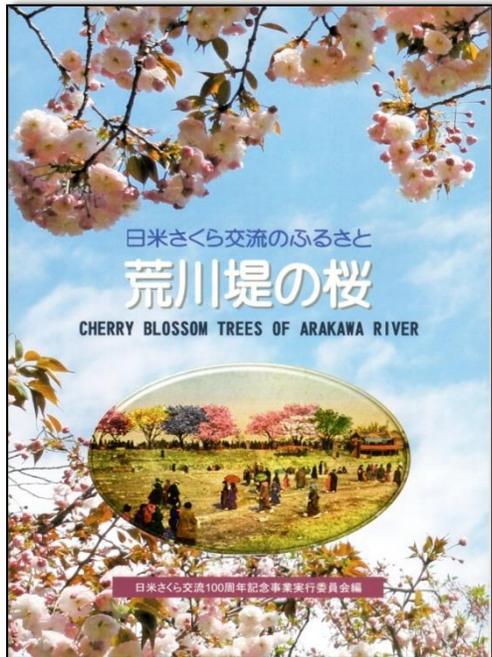
講演会や体験学習会の開催



パンフレット制作

1. NPO法人 あらかわ学会

■ これまでの日米桜交流に関する活動の例



ブックレット『荒川堤の桜』
(日本語版 2012)
(英語版 2013) 発行



ポトマック州際委員会スクラリューさん一行の荒川視察ツアー



ポトマック州際委員会のダルプラさんと姉妹河川提携について相談



ポトマック州際委員会と姉妹河川提携

ワシントンDC・ポトマックの桜資料と桜祭り見学ツアー 開催(2012年、2019年)



I. NPO法人 あらかわ学会 ホームページ

特定非営利活動法人

あらかわ学会

<https://arakawa-gakkai.jp>

Search



What's New

2024.07.08 [荒川遠泳大会2024 泳者募集](#)

2024.07.04 [親子バスツアー「ボクたちの水はどこからきてどこへ行くのか？」参加者募集](#)

Menu

[法人について](#)

[荒川おもしろ博物館](#)

[Web探検隊](#)



2. 「里帰り桜」とは？

■ 里帰り桜とは？

1912(明治45)年



アメリカから足立区
に帰ってきたサクラ = 「里帰り桜」



植樹



1981(昭和56)年



2. 「里帰り桜」とは？

桜の帰り先（返り咲）

■ 「里帰り桜」の誕生



世界的な
サクラの名所!!

アメリカ ワシントン ポトマック公園



「荒川堤の五色桜」**

衰退・枯死…

枝採取
・
育成



区制50周年記念事業で
ポトマック公園のサクラを
足立区に「里帰り」させよう!



区内の小中学校や公園に植栽



里帰り桜の誕生!!

1982年
(昭和57)

2. 「里帰り桜」とは？

■ 「里帰り桜」の問題点

【区内公園・緑地】



舎人公園
都市農業公園
荒川左岸鹿浜橋緑地…

→どの公園に何本ずつ
植えられたかの記録あり

【区内小・中学校】



・どの学校に？
・何本ずつ？
・学校敷地内のどこに、
どのように植えられた？
→ 記録ほとんどなし

統廃合にともなう敷地内・周辺の改築

足立区の歴史・自然・区民の記憶をつなぐ「国際交流」の象徴の
里帰り桜が現代に継承されないまま失われてしまう!!



3. 研究内容

■研究目的

40年前に足立区の小中学校に植樹された「里帰り桜」の

- ① **現況** (学校・植樹位置・本数・状態) を **把握** し
- ② 今日まで残った **里帰り桜の意味** を再確認
- ③ **里帰り桜を活かした** かわづくり・まちづくりの検討

ルネッサンス (Renaissance: 仏語) = 「再生」「復活」
アメリカへの桜贈呈110年記念の年(2022年)に
日米おける友好の証「里帰り桜」をルネッサンスさせたい!



3. 研究内容

■研究概要

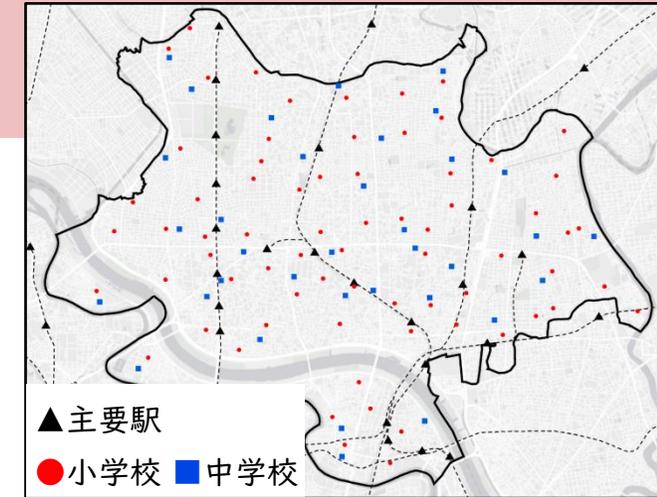
①里帰り桜の現況調査 ②里帰り桜の意味の考察

対象

足立区内小学校69校+中学校35校(合計104校)の里帰り桜

方法

- ・現地調査により里帰り桜の「有無」「本数」「位置」「胸高幹周」等の現況を把握
- ↓
- ・各学校における里帰り桜の記録を作成
- ↓
- ・他校との比較や数少ない既往文献等から読み取れるデータの分析を通じ、植栽位置からみえる当時 / 現在の里帰り桜の役割を考察



↑調査対象



調査の様子

3. 研究内容

■研究内容の詳細

- (1) **現地調査** 小中学校の里帰り桜 現況調査
- (2) **文献調査** 里帰り桜全般
- (3) **聞き取り調査** 里帰り桜関係者
- (4) **アンケート調査** 地域の里帰り桜の認知度と愛着の把握
 - 1) **足立区内全小中学校の担当教職員**を対象にした里帰り桜の認知度調査
 - 2) **足立区民**を対象にした里帰り桜の認知度調査
- (5) 里帰り桜の**継承手法**の検討
- (6) 里帰り桜の**生育記録**の作成と**教育用リーフレット**の作成
書籍『**荒川堤の桜**』改訂・増刷



4. 研究成果 現地調査

■研究成果 足立区内小学校69校+中学校35校(合計104校)の里帰り桜

「里帰り桜調査台帳(学校別)」

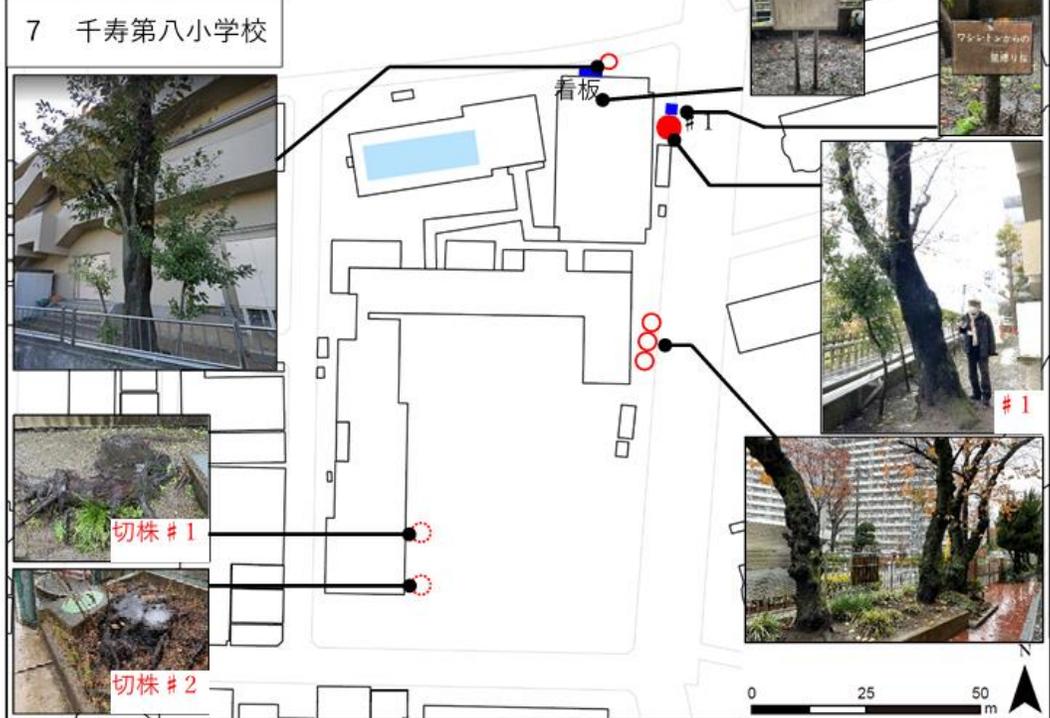


図 2-1-1 現地調査で訪問した学校 (学校は 2021 年 12 月現在のもの)

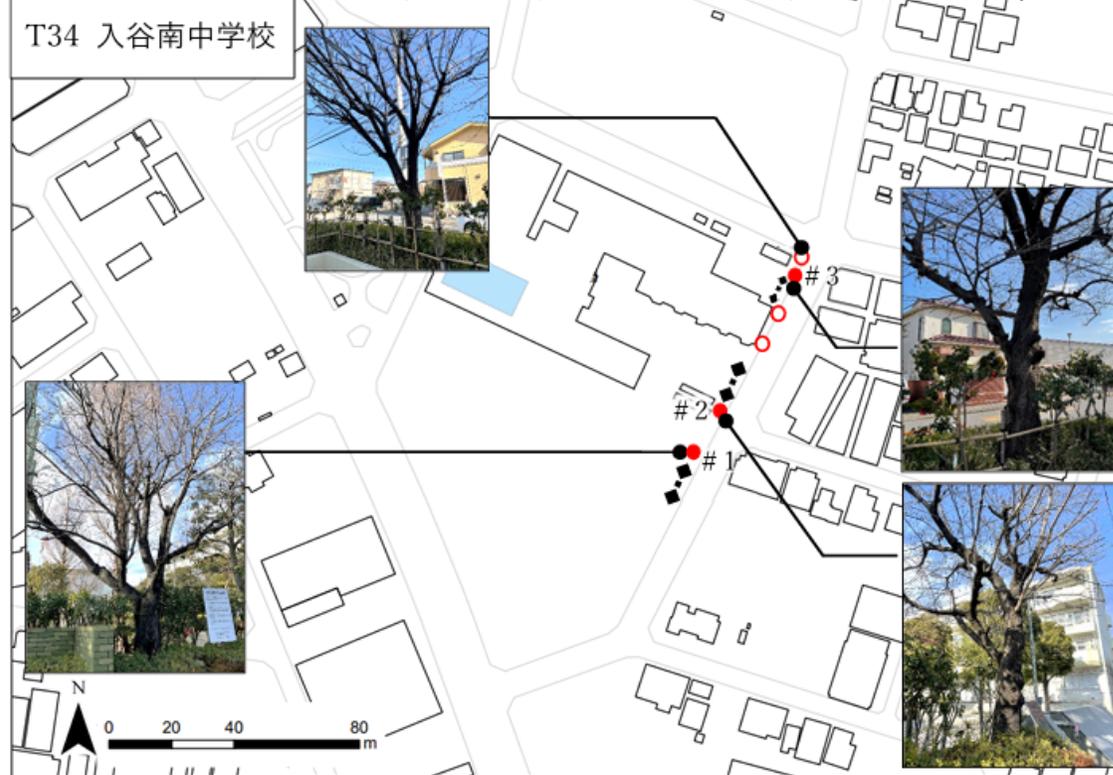
図 2-1-2 学校に設置されている里帰り桜の看板

4. 研究成果 「里帰り桜調査台帳（学校別）」

■ 研究成果 足立区内小学校69校+中学校35校（合計104校）の里帰り桜



里帰り桜の有無	有
里帰り桜の本数	1本
胸高幹周	#1: 約174cm
立て看板の有無	有
看板の種類	足立区教育委員会設置の看板（北側） 20cm程度の茶色の看板（東側）
備考	敷地内の北側（体育館北側）に1本と正門横に3本ずつサクラがあるが、里帰り桜かどうかは不明。 西側せきや保育園の校庭出入り口付近にサクラの切株あり。里帰り桜かどうか不明。



里帰り桜の有無	有
里帰り桜の本数	3本
胸高幹周	#1: 134cm #2: 127cm #3: 140cm
立て看板の有無	無し
看板の種類	
備考	#1 #2 #3以外にソメイヨシノは無（オオシマザクラ）

4. 研究成果 アンケート調査 1)

■研究成果 1) 小中学校の担当教職員対象にした里帰り桜の認知度調査

足立区の全小中学校 102 校（104 校から統廃合で減少）に配布。

65 校から回答（回収率 63.7%、回答者 校長8・副校長 56）。

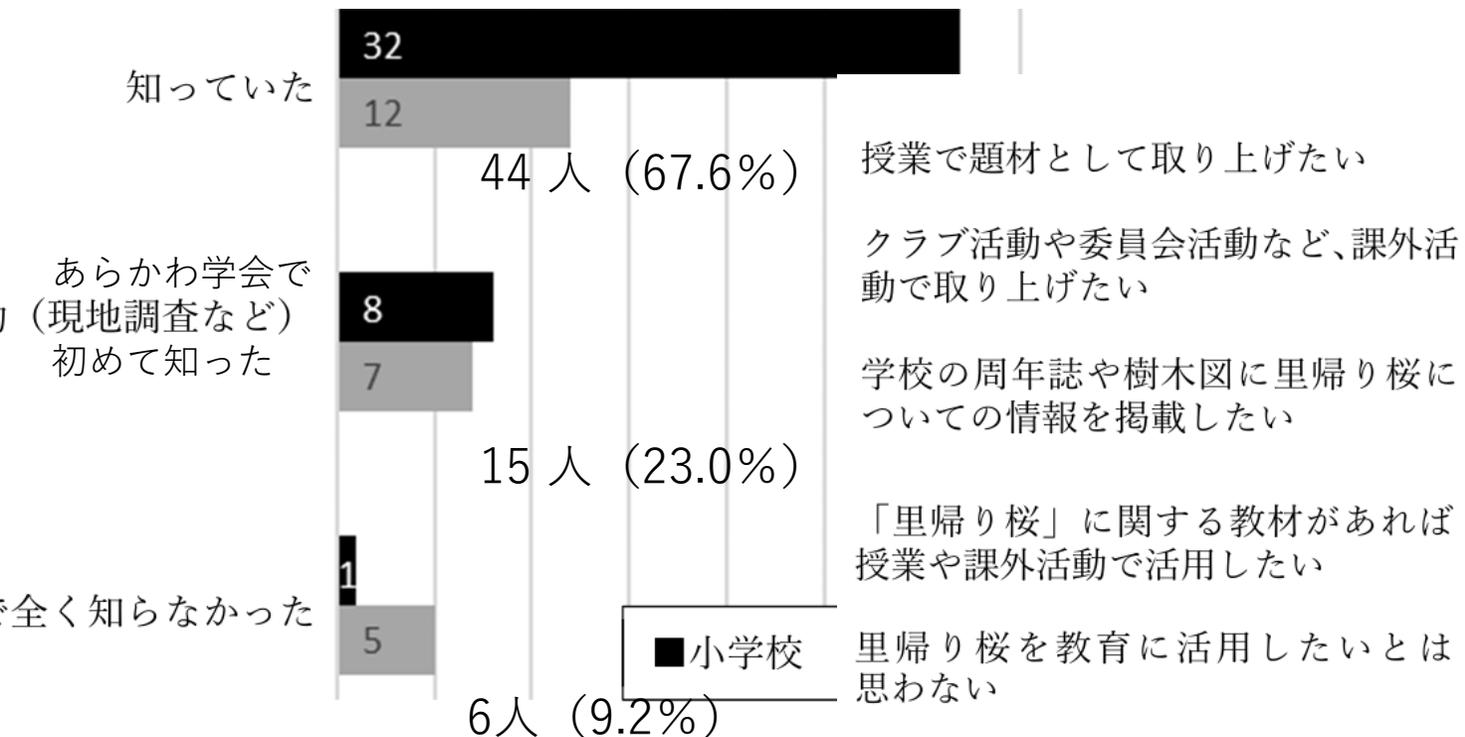


図 3-4-2 回答者の里帰り桜の認知度

- 授業で題材として取り上げたい
- クラブ活動や委員会活動など、課外活動で取り上げたい
- 学校の周年誌や樹木図に里帰り桜についての情報を掲載したい
- 「里帰り桜」に関する教材があれば授業や課外活動で活用したい
- 里帰り桜を教育に活用したいとは思わない

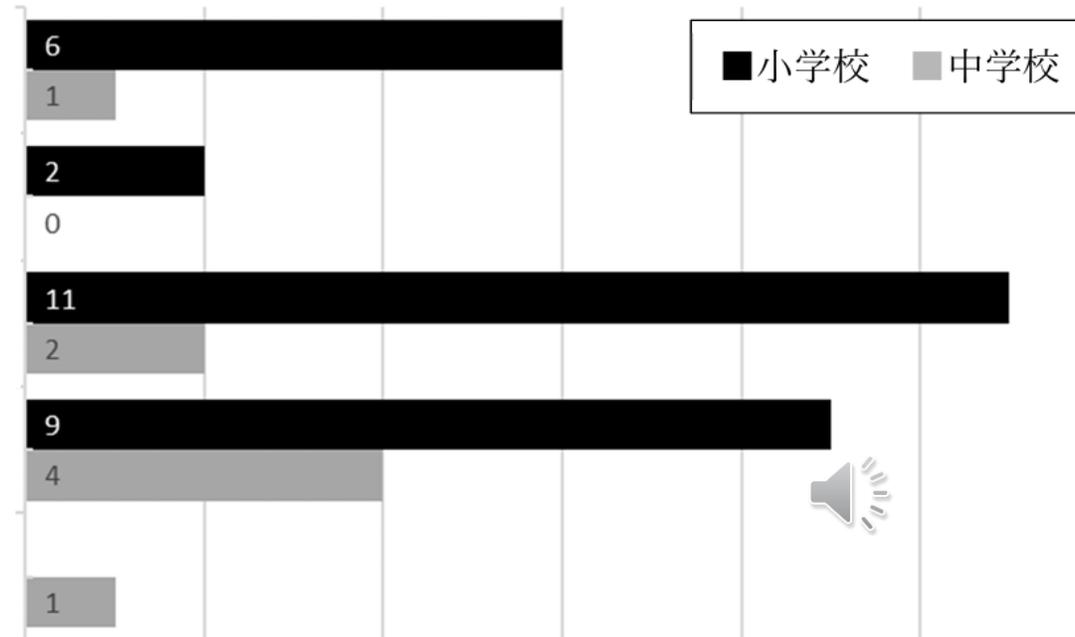
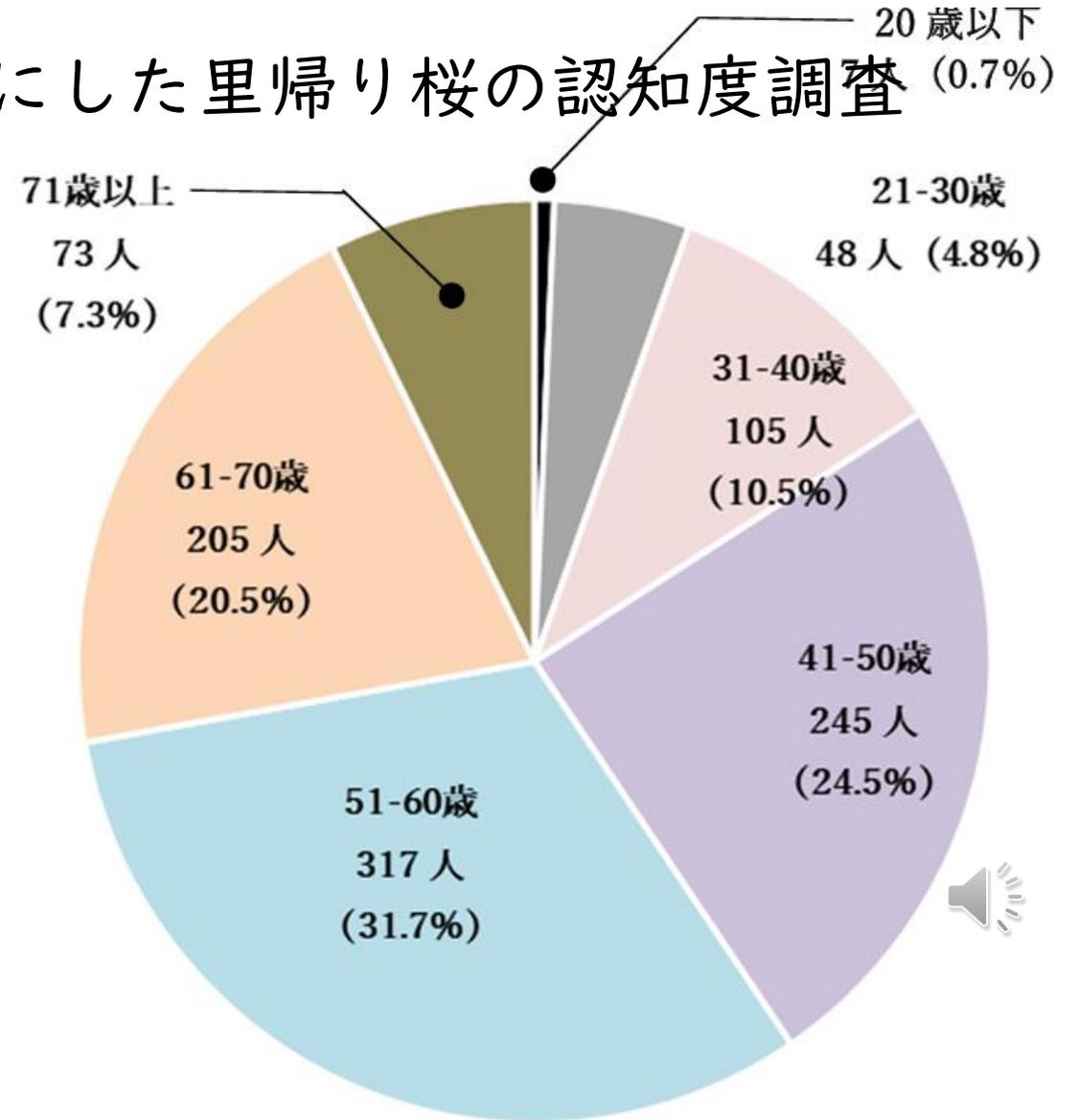
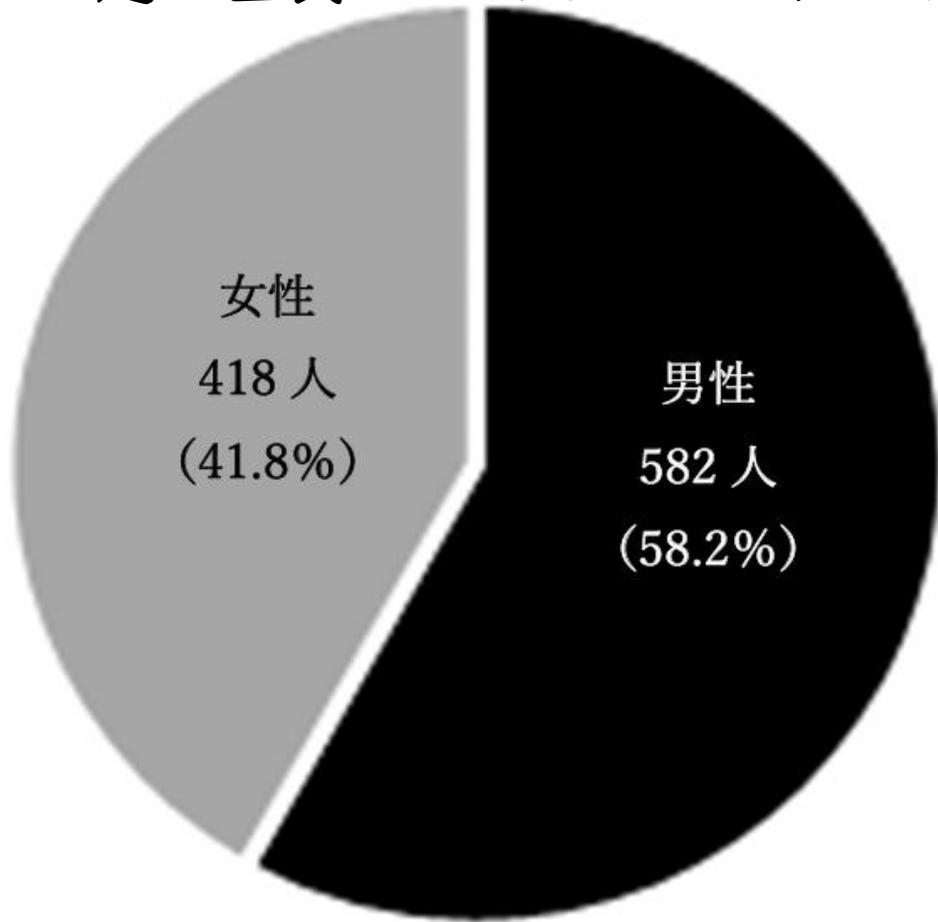


図 3-4-4 今後の里帰り桜の教育への活用希望とその方法

4. 研究成果 アンケート調査 2)

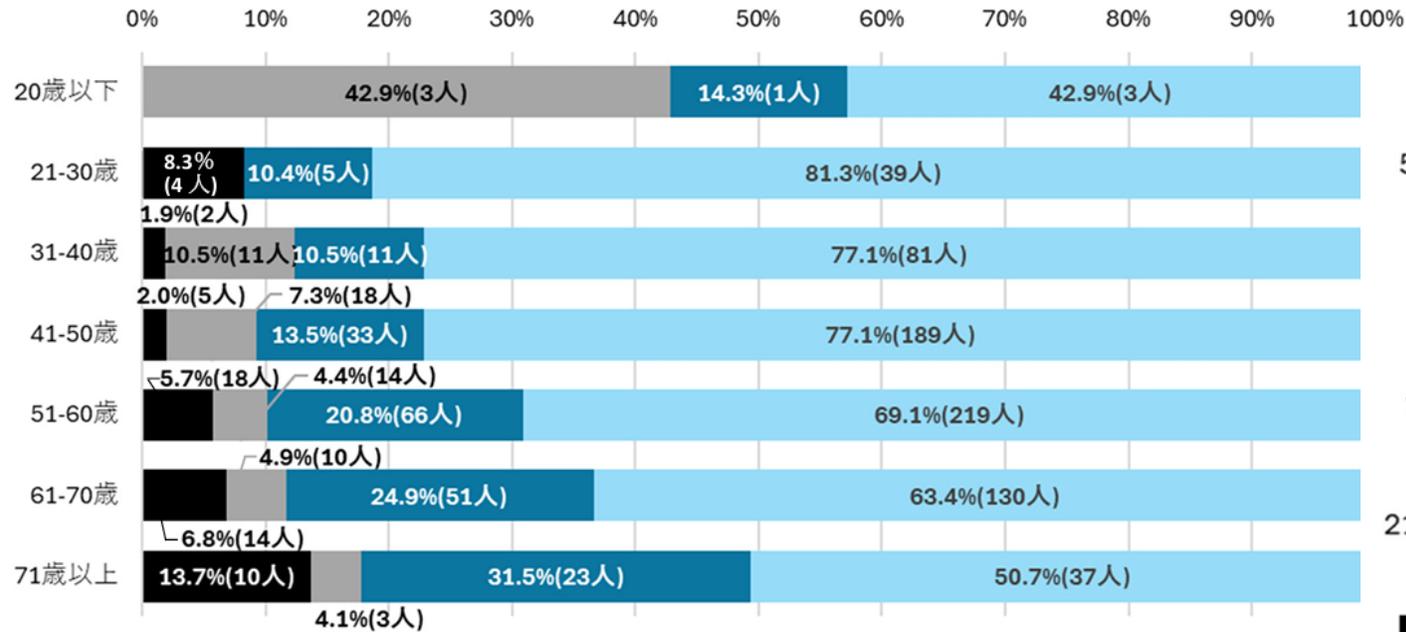
■研究成果 2) 足立区民を対象にした里帰り桜の認知度調査

足立区民1000人 Webアンケート



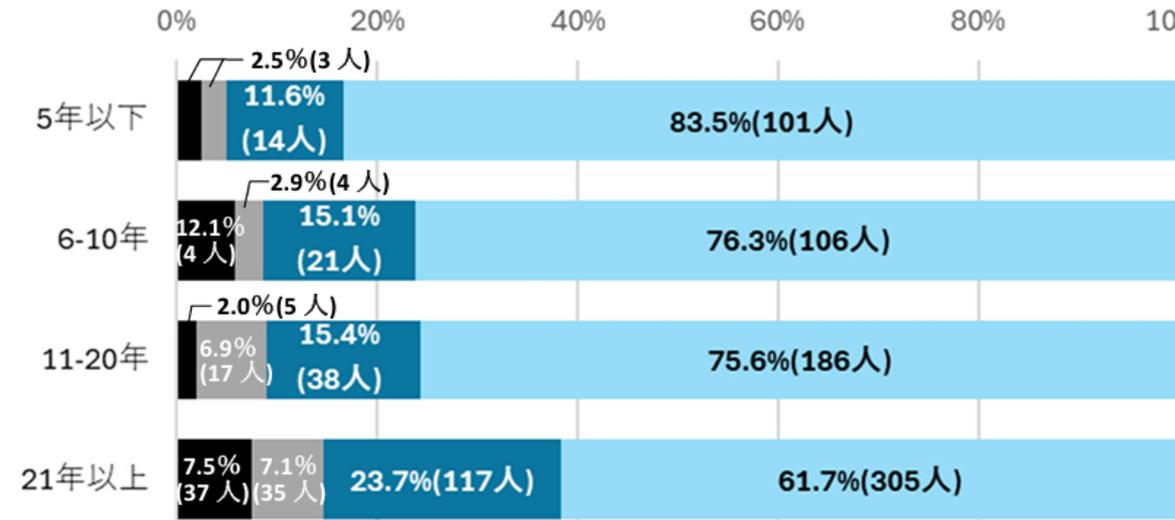
4. 研究成果 アンケート調査 2)

■研究成果 2) 足立区民を対象にした里帰り桜の認知度調査 足立区民1000人 Webアンケート



- 散策などで実際に訪れて見たことがある、どのようなものか説明できる。
- 里帰り桜に関する情報を聞いたことがある、どのようなものか説明できる。
- 見たことや聞いたことがあるが、どのようなものか説明できない。
- これまでに見たことや聞いたことがなく、存在を全く知らない。

図 3-4-11 アンケート回答者の年齢と里帰り桜を知った経緯についての関係



- 散策などで実際に訪れて見たことがある、どのようなものか説明できる。
- 里帰り桜に関する情報を聞いたことがある、どのようなものか説明できる。
- 見たことや聞いたことがあるが、どのようなものか説明できない。
- これまでに見たことや聞いたことがなく、存在を全く知らない。

図 3-4-12 アンケート回答者の居住年数と里帰り桜を知った経緯についての関係

4. 研究成果 (5) 里帰り桜の継承手法の検討

■研究成果

- ・足立区から日本花の会へ里帰り桜の育苗委託は20年ほど前まで。
- ・足立区保有苗木は無く、里帰り桜が生育している都市農業公園では、同公園内用の里帰り桜の後継木を市民団体（江北村の歴史を伝える会）等の意見を聞きながら、独自に育成。
- ・日本花の会の結城農場には、里帰り桜の「苗木」サイズのものはない。

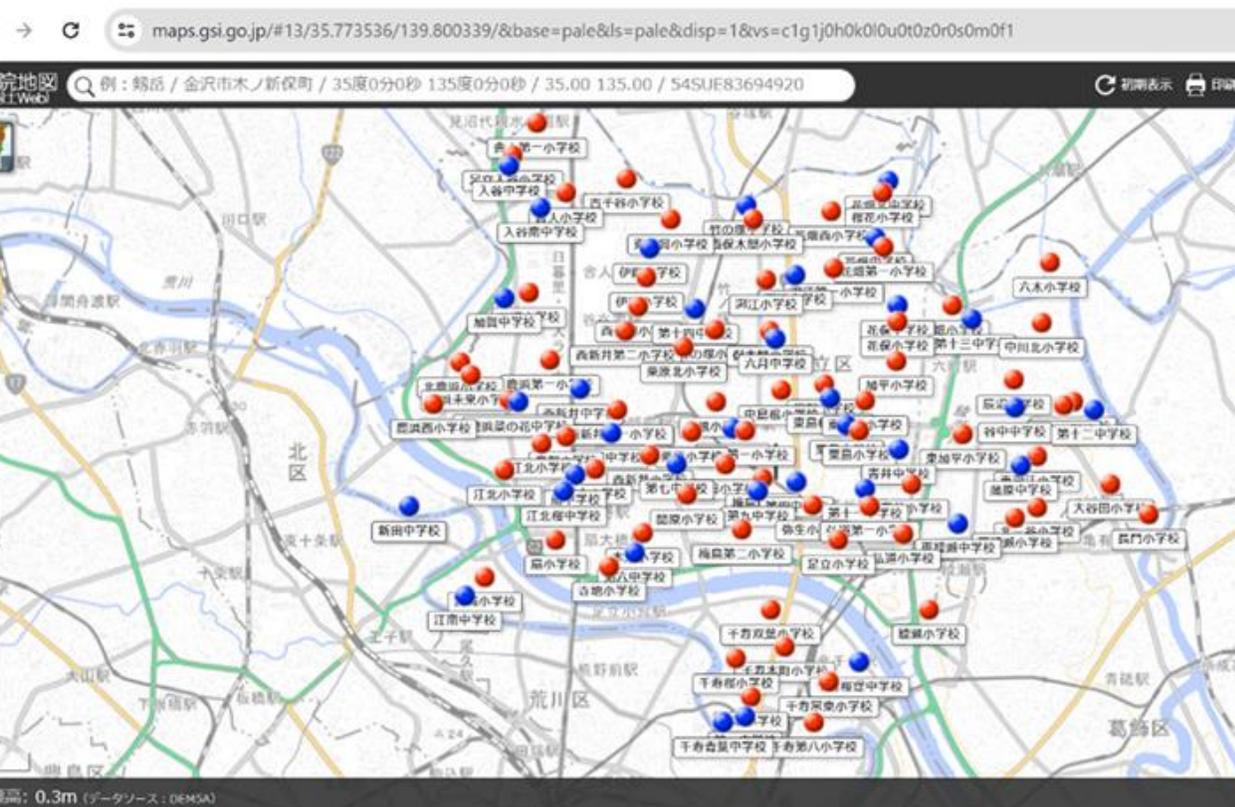
■提案

- 1) 里帰り桜と同種（品種）を学校植栽として用いる。
- 2) (公財) 日本花の会所有の里帰り桜の成木からの穂木で後継樹木を育成。

4. 研究成果 (6) 里帰り桜の生育記録の作成

■ 国土地理院地図による

調査台帳閲覧用URLの公開



・ 国土地理院『地理院地図』のHP <https://maps.gsi.go.jp/>

・ 里帰りのデータファイル

(Geojson形式)

<https://www.dropbox.com/scl/fi/1bcjqwoij39xtqls51gp/GSIMAP.geojson?rlkey=122jgv0lxxebjfozqlqoo5g&st=p45b7aq5&dl=0>

(KML形式)

<https://www.dropbox.com/scl/fi/5ckjzavfz80wge9pb7b1/GSIMAP.kml?rlkey=2ny78fht0pi2l1j7regl7ue3w&st==zlp4x3m&dl=0>



図 3-6-1 足立区の小中学校における里帰り桜の調査台帳閲覧のためのWebGISの表示画像

図 3-6-2 ポップアップ情報を表示した画像

(各学校のポイントをクリックすると情報が表示される)

4. 研究成果 (6)教育用リーフレット



図 3-6-3 作成した教育用リーフレット (表紙/裏表紙)

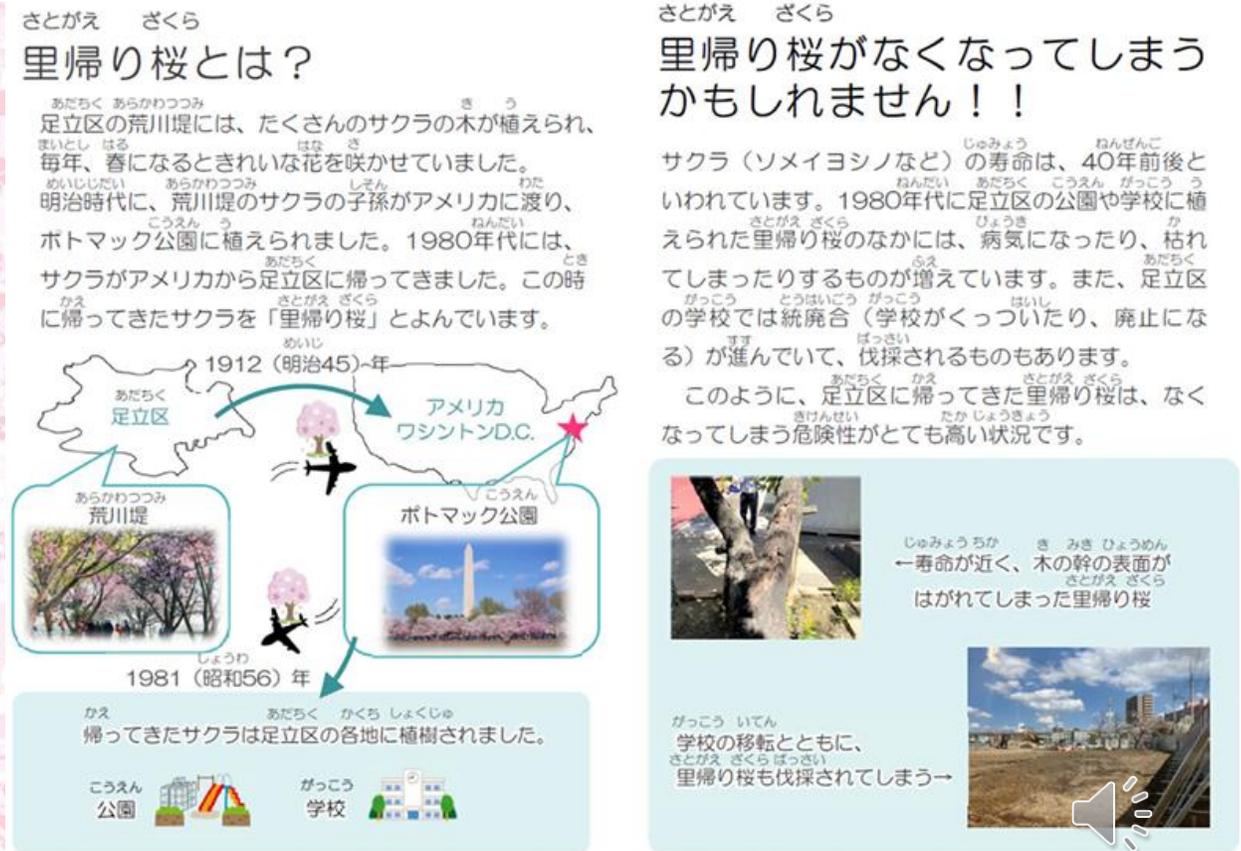
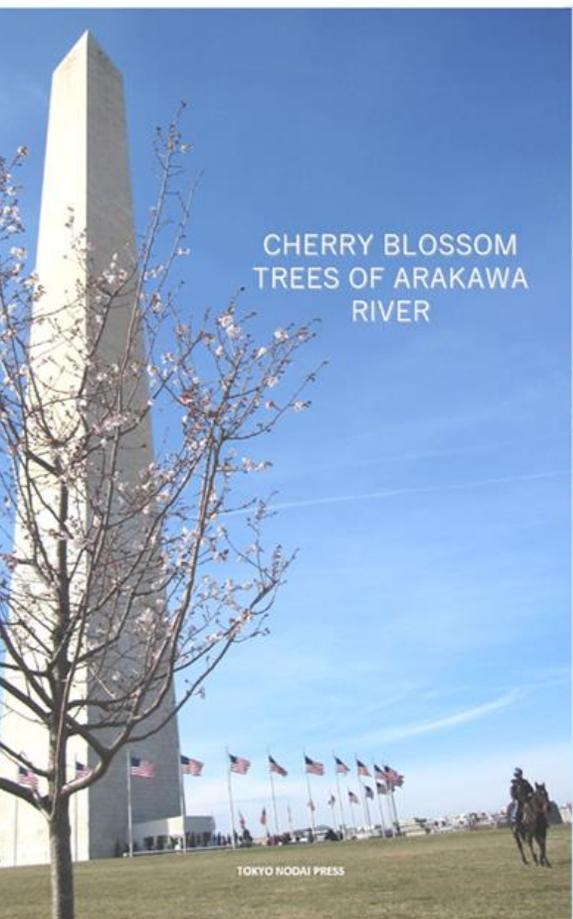


図 3-6-4 作成した教育用リーフレット (中折ページ)

4 研究成果 (6) 『荒川堤の桜』の改訂・増刷



CHERRY BLOSSOM
TREES OF ARAKAWA
RIVER

日米さくら交流のふるさと

荒川堤の桜

東京農業大学出版会

TOKYO NODAI PRESS



日米さくら交流のふるさと
荒川堤の桜

CHERRY BLOSSOM TREES OF
ARAKAWA RIVER

日米さくら交流会編

13

里帰り桜のその後

第1回里帰り桜のその後

ワシントンDC、ポトマック河畔の公園から送られてきた里帰り桜の穂木55本から育てられた367本の桜苗は、昭和29年(1954)当時足立区本木から北堀之内にかけて残っていた熊谷堤下水路部分に植樹されました。

残念ながら、活着・生育共にあまり良好ではなく、また荒川左岸沿いに首都高速川口線の新設工事があり、残った桜34本は昭和56年(1981)近くに新設された五色堤公園と、現在は「恐竜公園」として親しまれている堀之内北公園に移植されました。

里帰り桜・五色桜の展開

足立区では平成3年度(1991)・平成5年度(1993)に、里帰り桜の苗を利用して「桜つみモデル事業」を実施しました。足立区堀之内の荒川左岸堤防上約300mに植樹された桜18品種120本は、現在立派な桜並木となり、毎春人々を楽ませてくれています。

また、平成21～28年度(2009～2016)には、桜寄贈100周年・区政80周年を記念して、荒川左岸堤防(鹿浜橋～西新井橋)に「平成五色桜」49品種の植樹を行い、花見名所足立の荒川復活を目指しました。この時は「ふるさと桜オーナー制度」により個人・団体からの寄付で植樹し、個々の桜にネームプレートを設置するなどの工夫がなされ、現在「あだち五色桜の散歩みち」(約4.4km・458本)として区民に親しまれています。



五色堤公園

日米さくら交流の軌

第2回里帰り桜のその後

昭和57年(1982)の足立区制50周年記念事業として、「里帰り桜」が実現しました。昭和56年(1981)、ポトマック河畔から里帰りの桜の穂木35品種計3,049本から、接木され5,100本の苗木ができました。この桜苗は昭和57～59年度(1982～1984)の3か年事業で区内の小中学校や主要公園、公共施設に植樹されました。また希望する区民に配布され、関連自治体へも贈られました。

区内110校の全小中学校には昭和57年度(1982)に3～5本の里帰り桜(染井吉野、鬱)の苗が植えられました。植樹した際には、足立区教育委員会により解説板が設置され、長く児童生徒たちに親しまれてきました。しかし40年以上を経て既に枯れたり、学校の統廃合で消失したり、解説板の損耗により忘れ去られたり等、5立区内の小中学校の桜の現状が不明なままになっていました。

そこで、NPO法人あらかわ学会では、令和3～5年度(2021～2023)に区内の小中学校69校・中学校35校(2021年現在)の里帰り桜について現況調査を実施しました。



小学校の里帰り桜の解説 宮城小学校



中学校の里帰り桜 千寿橋東中学校



小学校に設置された解説板 旧高野小学校



里帰り桜調査風景 島根小学校

「日米さくら交流の軌跡」(東京農業大学出版会)に掲載された「里帰り桜」の調査結果の一部を掲載する。調査対象は、足立区教育委員会が設置した「ワシントンからの里帰り桜」の調査対象校である。調査結果は、令和3～5年度(2021～2023)に実施された。調査結果は、令和3～5年度(2021～2023)に実施された。調査結果は、令和3～5年度(2021～2023)に実施された。

足立区教育委員会解説板「ワシントンからの里帰り桜」

初版発行に際し、東京農業大学地域環境研究所並びに(財)河川環境管理財団河川整備基金の助成を一部活用させていただき、再版発行には一部、(一財)水・地域イノベーション財団からの助成を受けました。

©日米さくら交流会2024
Japan-U.S. Cherry Blossom Centennial Arakawa River

5. 今後の課題と展開

1) 各学校における里帰り桜の同定と植栽状況の追調査

植樹当時の教職員や、植樹担当の造園会社等へのヒアリング。

学校ごとの植栽パターン分析。

2) 里帰り桜の継承方法の考案と実践

学校植栽として里帰り桜と同じ品種を用いる。各学校の里帰り桜を活用し後継樹サクラの育成が可能。

今後も里帰り桜の周知・各校の連携体制構築が重要。



図 4-1-1 里帰り桜を使用したと言われている校内のベンチ（加平小学校）

5. 今後の課題と展開

3) 里帰り桜を通じた国際交流への展開

里帰り桜は、日米の平和外交の象徴。里帰り桜をさらに未来につないでいくことで、平和外交の意図を継承した環境教育と国際交流の研究につながる。

ホームページ制作



講習会の開催

里帰り桜アンバサダー
さくらさく小学校 校庭のサクラ調査チーム



正門前ソメイヨシノ 2023年3月



地域資源としての「里帰り桜」を活かした
かわづくり・まちづくりの検討
～日米里帰り桜ルネッサンス～

ご清聴ありがとうございました。

2024年度（一財）水・地域イノベーション財団 成果発表会
研究・専門部門 2024年7月24日 NPO法人 あらかわ学会